

## 蒲生干潟の植物③⑧

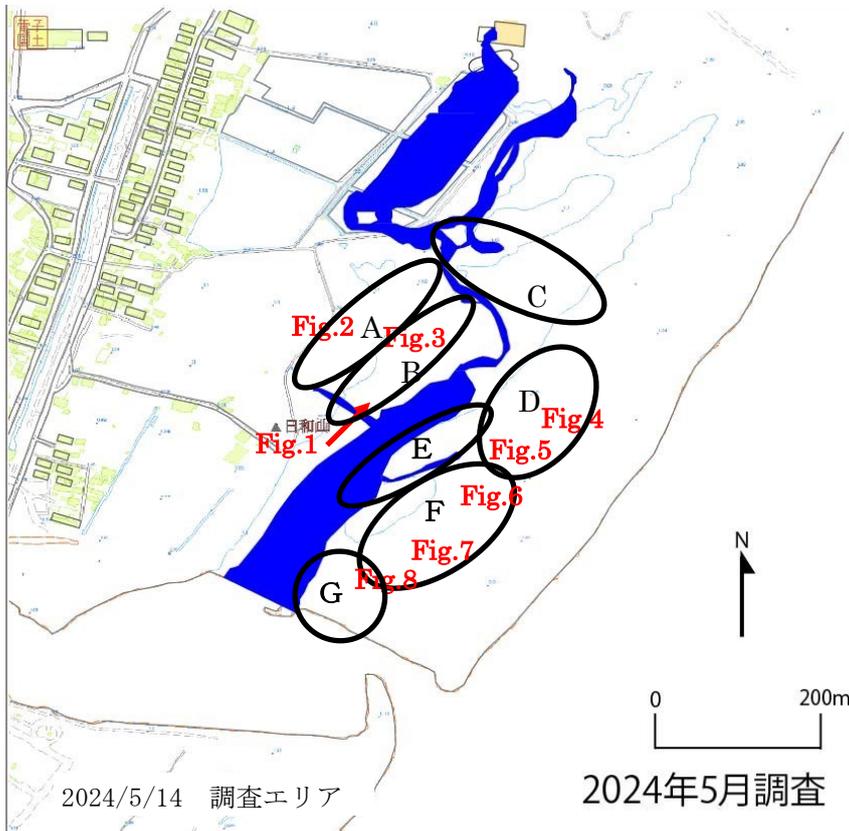


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



ヨシ

Fig.2 エリアAで撮影



ハママツナ

Fig.3 エリアBで撮影



コマツヨイグサ

Fig.4 エリアDで撮影



ハマエンドウ

Fig.5 エリアDで撮影



ハマヒルガオ

Fig.6 エリアFで撮影



ハマボウフウ

Fig.7 エリアFで撮影



マツ

Fig.8 エリアFで撮影

調査日時：2024年5月14日（火）9:45～11:00，天気：晴れ

干潮に向けてどんどん水が川へ向かって引いている時間帯であった。定点観測では、先月までの茶色一色から一変し、緑が目立つようになった(Fig.1)。エリアAのヨシは、防潮堤から潟湖に向かって徐々に背丈が低くなっており、100cm～50cmほどと生育に差が見られる(Fig.2)。エリアBのハママツナは、3～4cmほどに成長し、地面を覆うようになってきた(Fig.3)。エリアDでは、コマツヨイグサの花が見られた(Fig.4)。十個体前後で群生しているところが複数箇所で見られた。エリアDでは、ハマエンドウの花が見られた。数はまだまばらでこれから徐々に数が増えていくと思われる(Fig.5)。また、近くではハマヒルガオの花も数個体ではあるが確認できた(Fig.6)。ハマヒルガオはハマエンドウの後に咲くので来月がピークと思われる。エリアFではハマボウフウの花序ができはじめているのが確認できた(Fig.7)。エリアFの流木があるエリアで見られたハマダイコンの花はすでに落ち、葉も落ちていた。また、そのすぐ脇に新たなマツが1個体出ているのが分かった(Fig.8)。高さは20cmほどで潟湖東側のマツはこれで5個体目となった。

(宮崎佳彦)